

## **お知らせ** 予約奨学金について (日本学生支援機構：JASSO)

### 今年は大きく変わります！ 必ず保護者と相談してください！

(1) **申し込みが1回だけになります。** (締切：7/19)

昨年までは2学期にも申し込みができましたが、今年は8月以降には申し込みはできません。ただし、4月以降に進学先で申し込むことができます。

(2) **申し込みマイナンバーが必要です。**

「マイナンバーカード」の交付申請を早めに行う必要があります。

(3) **給付奨学金が変わります。**(入学金や授業料のサポートもしてもらえるようになります)

貸与奨学金は**返還が必要**(一種：利息無し、二種・入学時特別増額：利息有り)

給付奨学金は**原則返還不要**(対象大学等は9月以降に公表されます)

※ただし、進学後も成績や家計の審査があります。やむを得ない事由のない成績不振や退学等の場合、給付は停止され返還を求められます。

### **注意点**

(1) **採用基準があります。**(給付奨学金は、より条件が厳しくなります)

- ①家計が基準以下であること
- ②成績基準を満たしていること

(2) **支給は来年度からです。**(今年度中は支給されません)

大学や専門学校から、合格発表後2～4週間以内に入学金等を納入するよう通知がありますが、それには奨学金は利用できません。ただし、文部科学省から各学校へ「納入時期の猶予など弾力的に取り扱う」よう依頼されています。猶予が可能かどうかは、進学予定の学校へお問い合わせください。

### ◎奨学金説明会を以下の日程で行います。

**生徒対象 6/21(金) 16:00～ 視聴覚室 (場所が変わりました)**

(現段階で就職希望でも、希望の就職先が見つからず、9月以降に進学に変わる可能性がある者は参加してください。また、公務員養成学校にも対象校があります。)

**保護者対象 7/3(水) 進路説明会后～ 図書館棟1階図書室**

また、日本学生支援機構のホームページからも詳細が確認できます。

ホームページ <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/>

相談センター 0570-666-301 (月～金 9:00～20:00)

## Q どのような人が対象になりますか？

A. 世帯収入・学修意欲などの要件を満たす人で(P1参照)。支援対象となるかどうかは、日本学生支援機構(JASSO)が審査して、その結果は年末までにお知らせする予定です。

## Q 成績がよくないと支援を受けられないのですか？

A. 高校等の成績にそれほど自信がなくても、レポートの提出や高校等による面談などにより、学修意欲や進学目的が認められれば申請できます。なお、進学後はしっかりと勉強する必要があります。

## Q どの学校に進学しても支援が受けられますか？

A. 支援対象の学校は夏以降に公表予定ですので、進学を希望する学校が対象になるのか、文部科学省などのホームページでご確認ください。

## Q 手続きを行う際に準備しておくことは何ですか？

A. 申請の際には本人及び生計を維持している人(保護者)のマイナンバーの提出が必要になります。マイナンバーカードを持っていない人は通知カードがあるか確認しておきましょう。

## Q くわしいことを調べるために、参考になるものは？

A. まずは、特設サイト  
「高等教育への進学支援」をご一読ください。



<http://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

下記にもくわしい情報を掲載しています。



「奨学金の制度(給付型)」  
日本学生支援機構 奨学金ホームページ  
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

## Q 高校以外に相談にのってくれるところはありますか？

A. 奨学金の貸与型、給付型、返還に関する相談を受け付けています。

日本学生支援機構 奨学金相談センター  
電話: 0570-666-301 (月~金、9時~20時)  
※土日祝日、年末年始を除く ※通話料がかかります。

お電話の前に、まずは、特設サイト「高等教育への進学支援」をご確認ください。

- ・手続きのスケジュールや個別の提出書類は、高校等に相談してください。
- ・マイナンバー提出については「マイナンバー提出に関する専用コールセンター」(申込関係書類の封筒の中に入ってます)に相談してください。

経済的理由で進学をあきらめないよう

## 学びたい気持ちを 応援します!

大学・短期大学・  
高等専門学校(4年・5年)・  
専門学校に進学する人が対象!!!

新しい「給付型奨学金」と「授業料等減免」  
(入学金を含みます)

## 2020年4月からスタート!

詳しくは裏面へ▶▶



子供の進路を考えると、お金のことがちょっと気になる...

話しにくいけど、大切なことです。

そもそも奨学金には  
「給付型」と「貸与型」があります。



くわしくはこちら  
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/index.html>

2020年4月に入学する人から

## 国の新しい修学支援制度がはじまります！

家庭の経済事情に左右されずに、意欲のある子供たちが、社会で活躍する人材を育成できる大学等へ進学し、学ぶことができますようにします。

うちの子供も  
利用できるか  
調べなくちゃ



### 「給付型奨学金」の対象を拡充します

### あわせて進学先の授業料・入学金も減免(免除or減額)されます

#### 新しい制度の対象となる学校は？

大学・短期大学・高等専門学校(4年・5年)・専門学校

※学問探究と実践的教育のバランスがとれているか、など、一定の要件を満たした学校が対象

進学を希望している学校が対象になるか、夏以降に文部科学省のホームページで公表される予定です。確認しましょう。

#### どんな学生が対象になるの？



世帯収入の要件を満たしていること

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯

基準を満たす世帯年収は家族構成により異なります。



進学先で学ぶ意欲のある学生であること

高校等の成績だけで判断せず、レポートなどで学修意欲を評価

進学後にしっかり勉強しなかった場合には支援が打ち切られます

#### [ 奨学金ミニ解説 ]

経済的理由で進学をあきらめてしまうことがないよう、日本学生支援機構(JASSO)は国の奨学金で学生等を支援しています。「給付型奨学金」も、返す必要がある「第一種奨学金」「第二種奨学金」も、生徒自身が申し込みます。支給されるのは入学してからで、学生本人の口座に振り込まれます。

## どれくらい支援してもらえるの？

世帯収入や、国公立か私立か、自宅通学か自宅外通学か、で支援額が異なります。JASSOのサイトで試算をしてみましょう。

JASSOサイト内  
シミュレーション  
のページはこちら



世帯年収や  
学校種などに  
よって額が  
変わるんだね。



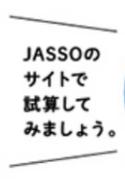
世帯収入



学校種  
国公立/私立



自宅通学/自宅外通学



JASSOの  
サイトで  
試算して  
みましょう。

私立大学 に進学し、自宅以外 から通う場合

給付型奨学金	約91万円/年
支援額	
授業料	上限 約70万円/年
入学金	上限 約26万円

私立専門学校 に進学し、自宅 から通う場合

給付型奨学金	約46万円/年
支援額	
授業料	上限 約59万円/年
入学金	上限 約16万円

※住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生への支援額は、上記の2/3又は1/3になります。

## 申請方法とスケジュール

2019年(高校3年生)にやっておきたいこと

調べる

5月・6月頃

子供に将来の夢や進学したい学校などを聞いてみる

子供が支援の対象となるかJASSOのサイトなどで調べる

申請する

7月頃

「対象かも」と思ったら学校から申請書類をもらって必要書類を提出。インターネットで申込み(予約採用の申請)

夏以降

進学予定校が対象として認定されたか確認(公表は夏以降)

通知が届く

12月頃

審査結果の通知がJASSOから学校に届く(予約採用の候補者決定通知)

2020年4月

入学後にJASSOへ進学届を提出  
授業料等の減免は、進学時に進学先の学校へ手続き

### 支援の開始

奨学金の最初の振込みは4月または5月です。

申請はこの夏、  
本人がして  
ください



子供と保護者のマイ  
ナンバーの提出が必  
要です。早めに準備を  
しておきましょう。



※最新のスケジュールはJASSOのサイトで確認してください。